

今年度の特記事項

- ・コロナのため、かがやきプラザ内の多くの活動が中止となり多大な影響を受けた期間、区からの要請もあり職員の日中帯の出勤時間・人数調整をした。
- ・相談センター業務の質的量的評価を可能とする指標を作成。これにより相談センターが目指す方向（最終目標は地域共生社会の実現）が明確となった。
- ・認知症カフェにおいて、認知症地域支援推進員と連携し、コロナ禍のカフェの在り方を検討しながら開催。さらに今後の新たなコミュニティワーク拠点として、神田駅の喫茶店での出張型認知症カフェを開始した。
- ・地域連携のための勉強会を実施。「セルフネグレクトの支援について」をテーマに実施した。社会福祉協議会からの職員 6 名参加。
- ・区在宅支援課が 2021 年度から高齢者見守り活動の整備・拡充を検討しており、相談センターが実施してきた見守り構想と合致するため、5 回意見交換を実施。千代田区の地域共生社会構築を見据え、コミュニティソーシャルワーク的視点から次年度も引き続き協働し、千代田区の地域共生社会の基盤となるよう、見守り体制の構築を目指す。

1. 高齢者の相談拠点業務

1) 総合相談支援業務

かがやきプラザの環境を活かし、年間を通して在宅支援課相談係と連携・即応の体制により総合相談業務に臨むことができた。

2) 医療・介護の連携支援業務

区内及び近隣医療機関との効率的連携を図った。コロナの影響により病棟入室禁止としている病院が多く、電話での連携対応が主になった。

3) 緊急対応業務

かがやきプラザの環境を活かし、速やかな緊急対応が図れた。また昨年度作成した「緊急対応フローチャート」「安否確認チェックシート」の活用により、各職員の均一的緊急対応が可能となった。

4) 認知症支援業務

コロナの影響により、認知症の進行が疑われる相談者が増加。専門医医療受診の情報提供をし、受診へとつないだ。認知症カフェにおいて、感染症対策の徹底をはかり喫茶店での出張カフェをスタートさせた。

5) 介護・福祉人材等育成支援業務

研修センター拠点との連携に重点をおき、研修の提案、講師の受任、積極的な参加等を行った。区民や企業・学校向けの認知症サポーター養成講座の講師受任に関しては、ZOOM で初めての開催。相談員のグループスーパービジョン研修にて事例提供をし、各職員積極的に参加した。

6) 普及啓発業務

コロナのため、各種活動が中止となり、普及啓発業務が困難な状況であった。認知症カフェ、ながいき教室の後方支援により普及啓発業務を実施。

7) 各種サービスの利用申請及び手続きの受付業務

区高齢介護課・在宅支援課の事業・サービスに関わる相談やアセスメントを行い、区職員へ書類の引き継ぎを行った。

8) 高齢者あんしんセンターとの連携及び支援業務

あんしんセンターと情報共有・連携・協働・役割分担等を図りながら業務を実施した。あんしんセンターと相談センターが連携することで、困難事例対応等における区他の関係部署、医療機関、その他各関係機関とのネットワーク構築が図れた。

2. 重点業務目標

- 1) 相談センター内見守り名簿を軸として、相談センター内で関わる高齢者・家族への継続的な見守り体制づくりを実施。区在宅支援課が次年度、高齢者見守り活動の整備・拡充を検討しているため、有益な意見交換を実施することができた。
- 2) コロナによる活動自粛の影響が大きい高齢者を中心に、多機関連携の支援を実施。昨年度から引き続き資料としての社会資源はさらに充実した。